

第6回 亶理町まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会
議事とりまとめ

【開催概要】

- 1 日時：平成 29 年 6 月 21 日（水）午前 9 時 30 分～午前 11 時 40 分
- 2 場所：亶理町役場仮庁舎 西会議室
- 3 出席者
 - (1)委員：郷古雅春委員長、門澤俊夫副委員長、森義洋委員、中山一哉委員、佐藤徳美委員、千葉文彦委員
 - (2)事務局（企画財政課）：佐藤課長、宍戸班長、武山主事、入木主事、大堀主事
 - (3)事業担当課：猪股副班長（商工観光課）、小野主査（農林水産課）

【配布】

- 1 次第
- 2 平成 28 年度地方創生事業効果検証シート No. 1～No. 3 【事前配布】
- 3 平成 29 年度 地方創生推進交付金事業「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」について
- 4 ソーシャルメディア分析業務 観光・物産 SNS 分析レポート
- 5 はらこめしプロモーション調査業務アンケート調査結果報告書
- 6 みやぎ県南浜街道「じゃらん」
- 7 亶理町観光客入込数集計
- 8 観光客入込数集計（観光いちご園、潮干狩り）
- 9 亶理町の地方創生事業（平成 27 年度、平成 28 年度）

【議事概要】

開会に先立ち、亘理町まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会設置要綱第4条第2項により、七十七銀行亘理支店長 千葉文彦氏に委嘱状を交付した。

また、事務局 宍戸が佐藤弘委員の欠席報告及び事務局の紹介を行った。

1 開会

事務局 宍戸が開会を宣言した。

2 あいさつ

郷古委員長から「皆様、おはようございます。こちらの効果検証も2回目となります。事前送付のあった効果検証シートを拝見しましたが、着々と事業が進められていると感じています。今日も事務局からご説明いただき、委員の皆様からは忌憚のないご意見をいただき、より良い計画・実行となっていくよう期待しております。今日は午前中いっぱいになると思いますが、よろしくお願ひいたします。」とあいさつがあった。

新たに委員となった千葉委員から「皆さん、おはようございます。千葉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。3月1日付けの人事異動により、3月の中旬頃から着任しております。3箇月くらいこちらでお世話になっております。亘理町の印象という、「食」と暖かい気候というイメージで来ましたが、正にその通りの町であって、しかも、仙台圏から近く、非常に利便性も良く、非常に観光にも力を入れている町なのかなと改めて思っております。地方創生の委員の1名ということで選んでいただきましたけれども、微力ではありますが、しっかりと務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。」とあいさつがあった。

3 議事

(1)平成28年度 地方創生加速化交付金事業に関する効果検証について

事務局(入木) 資料により効果検証シート No.1 わたしとわたりのブランドづくり事業についての説明を行った。

郷古委員長 ありがとうございます。事務局からの説明について、ご質問やご意見はありますか。

門澤副委員長 ⑥のはらこめしプロモーション調査業務のアンケートについてはこれからも継続して定期的実施するのか、それとも、この1度で終了ですか。

事務局(宍戸) このアンケートは、⑤「わたりを熱くする東北楽天PRイベント業務」で実施したアンケートの結果を受けて展開させ

ていただきました。日々、認知度を調査していきたいので、今年度についても何らかの形でアンケート調査を実施できればと考えています。

門澤副委員長

この結果（「わたりを熱くする東北楽天PRイベント業務」で実施したアンケート調査）の仙台市内在住者のおよそ3割、県外在住者の6割以上が「はらこめし」を認知していないというのは、私の認識とすると意外に低い。もっとみんな知っているんじゃないかとは思ったんですが。やはりPRの継続が1番の解決だと思いますので、定期的にこういった調査を実施して、認知度を高めていく努力が結果としてどうなったかという調査も継続して行って欲しいと思います。

郷古委員長

私の方からもよろしいでしょうか。「ぶらっとわたり」のWEBサイトを拝見しまして、非常に見やすく、きれいな作りになっていると思いました。家族にも見てもらいましたが、すごく評判が良く、私も同じ印象を受けました。今WEBサイト上にカウンターは付いていませんが、アクセス数はどのような状況でしょうか。

担当課(猪股)

アクセス数については、月でページビューが9,000ページ程度、ユーザー数については、3,500程度になっています。1人来て、見るのが大体3ページ程度の状況で現在推移しています。公開してから特にPRはまだしてない状況で、閲覧数は一度新聞に載った際にドーンと上がって、その後、GWでも上がっていました。平日は大体60人くらい、休日になると100人近くの方が見るというような状況です。現在、鳥の海PAに亘理町ブースということでラックを置かせてもらっているんですけども、そこで「ぶらっとわたり」のチラシの配布をしているので、そこからも徐々にですが、伸びてくれればと考えています。

郷古委員長

ありがとうございます。「ぶらっとわたり」にオンラインショップのリンクが張られています。オンラインショップの売上はどうか。

事務局(入木)

オンラインショップ「みんなの亘理」は昨年度の4月から販売を開始しておりまして、今年度の4月末までの13箇月間の総売上額は1,164,785円、総注文件数は213件、総ページビュー数は72,762回となっています。また、平均注文額については、5,000円前後で推移しておりまして、はらこめ

- しやいちごの時期には平均額が上がる一方、特産品がない時期の売上げは伸びないというような傾向になっています。
- 郷古委員長 ありがとうございます。まだこれからなのかなという気はしますけれども、今の段階でどのように評価するかなかなか難しいですが、ページビュー数、訪れる人は一定数いるのかと思います。ただ、なかなか買うところまでは行き着かないかなという気がしました。
- あと、先ほど副委員長の方からありました、⑥のはらこめしプロモーション調査業務で、仙台オクトーバーフェストでアンケートを行い、回答者数 3,195 人ということでした。結構な数だったなと思いますが、どういった回答の傾向があったのか、簡単でいいので、教えていただけますでしょうか。
- 佐藤(徳)委員 今のアンケートの件なんですけど、仙台オクトーバーフェストと楽天の時は同じ内容のアンケートですか。
- 担当課(猪股) 中身は若干違います。
- 佐藤(徳)委員 楽天のアンケート結果は去年いただきましたよね。
- 担当課(猪股) はい。
- 佐藤(徳)委員 仙台オクトーバーフェストのアンケート結果はもらってないですよ。
- 担当課(猪股) はい。
- 郷古委員長 同じ内容ならもしかしたら、結果は変わっていたかもしれませんね。
- 佐藤(徳)委員 そうですね。楽天の方は 50 代、60 代の方の回答が多かったという結果でしたし、仙台市内の人が多かったとか、そういうところからもやっぱり偏りとかもあったのかなという感じはします。
- 郷古委員長 感覚的には、仙台オクトーバーフェストに来てる方たちの認知度は高いんじゃないかなと思います。
- 事務局(武山) はらこめしプロモーション調査業務の仙台オクトーバーフェストでのアンケートですが、約 3000 名にアンケートをとった調査報告書になります。最後のページになりますが、委託した業者から総括をいただいておりますので、紹介させていただきます。
- 亘理町の観光資源としては、はらこめしがもっとも評価が高く、ほかの地域との差別性を演出しやすいということで、町内のはらこめし飲食店を巻き込んだイベントを設計をし

の方が良いという提案をいただきました。

また、「トライアル&リピートモデル」の観光資源開発による来町頻度の向上が必要ということで、来町して、町での消費を増やすことを目的とするのであれば、例えば、一定期間飲食店を回遊するイベント等の組み合わせによって消費行動の定着を図るのがよいのではないかとの意見いただきました。

最後に、はらこめしの「地産地消」型から「地産他消」型（地域の外への普及）への移行の中で、そもそも町民の消費が意外に浸透していないことがわかったため、前提条件が崩れてしまうということで、平成29年度の事業でははらこめしの「地産地消」を推進する事業を展開していけたらと考えております。

郷古委員長
担当課(猪股)

ありがとうございます。ご質問はよろしいでしょうか。

アンケートと同時にわたり温泉鳥の海の招待券を配ったんですが、仙台で配布して亶理町に足を運んでもらったのが3割の方でした。500円のインセンティブで思った以上に来るなっているのを感じました。

佐藤(徳)委員
担当課(猪股)
事務局(宍戸)

期限はあったんでしたっけ。

12月31日までです。

はらこめしのプロモーションを昨年から仙台オクトーバーフェストでやらせてもらって、はらこめしの試食を配布しているんですけども、その配布を受けた方あるいはアンケート記入者の多数の方から、なぜ販売しないんだっていうご意見をいただきました。こちらとしては、販売してしまうと亶理町に来る機会っていうのがそこで済んでしまうので、試食のみの展開でさせていただいております。私どもの戦略的な部分でいうと、試食を配布して、もっと食べたい方は亶理町にお越しくくださいというようにしております。これについては、賛否両論ありまして、売ったら売ったでPRにつながるんでしょうけど、敢えてそういう手法を取り入れて、実施させていただいております。

郷古委員長

ありがとうございます。

もう1点、⑨のソーシャルメディア分析業務ですが、SNSで拡散されている投稿を収集し、分析したということですが、すごく面白いと思いました。これも結果はわかるんですか。

担当課(猪股)

今回のソーシャルメディア分析業務につきましては、データ収集期間が平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年の 2 月 28 日までとなっております、「はらこめし」、「ほっきめし」、「いちご」、「りんご」、「鳥の海」、「荒浜」、「悠里館」、「亙理伊達家」を検索キーワードに、twitter のツイート数で調査しております。調査結果としましては、はらこめしが断トツに多く、ほかは、いちごはシーズンになれば上がってきて、りんごやほかのものはあまり上がってこないという結果でした。はらこめしはそのまま、いちごについては、「亙理」と「いちご」が入っていればカウントされるというかたちでやっています。悪く書かれているっていうのはあまりなく、ほとんどの方が美味しいとか、こういうの食べて来たよとか、いい印象での紹介をしてくださっています。はらこめしについては、アイドルの子がはらこめし美味しいよっていうようなツイートをしてくれました。そのフォロワーが何万人っていて、その人に発信してもらえるとその何万人というフォロワーがその情報を見れる。はらこめしってなんだろうっていうようなかたちになる。それを商売にしてる方たちもいますし。今回はそういう人をお願いしてる訳ではないですけど、そういう人たちも知ってるっていうのが確認できました。とにかく、はらこめしはすごいです。

郷古委員長

今アイドルの話がありましたけど、フォロワーの数はすごいんですね。ものによっては。すごい宣伝力は常にあるので、せっかくなので、そういったデータの調査や分析をしたのであれば、それを色々な施策に活かしていてもいいのかなと思いました。ありがとうございました。

ほかにございますか。では、KPI と事務局から説明のあった事業効果、今後の方針についてご意見等ございましたらお願いします。

千葉委員は初めてですが、何でも結構ですのでいかがでしょうか。

千葉委員

最後のところに事業効果が出ておりましたが、たぶんもっと効果あるんだろうなと思いました。切り口や見方を変えるともっと。移住相談はたまたまゼロなんでしょうけど、実際はかなりの方が移り住んでいる。その拾い方は少し難しいと思うんですけど。効果ってなかなか数字で表すには難しいと

ころがあるんでしょうけど、もっといいように拾ってあげたらいいのかなと思います。さっき委員長が言われたとおり、HPのページビュー数の見方とかも同様に。

事務局(宍戸)

移住相談者数、結果ゼロということですが、移住に関して、今は行政に頼らなくても、色々なその情報が流れているので、その影響はあるかと思います。亶理町の人口は少しずつは減っているんですが、世帯については増えている状況なので、自ら選択して亶理町に移住なさってる方もいらっしゃると思います。このKPIは直接行政のほうに相談に来た件数ってことで掲げておりますので、千葉委員のおっしゃるとおり、拾い方によっては結構いるのかなと思います。

中山委員

今のに関連して、可能かどうかわからないですが、転入届を出す際に簡単なアンケート調査をできればいいかなと思いました。

事務局(宍戸)

その辺、本当に簡単なアンケート調査になるかと思うんですが、関係課と調整したいと思います。

郷古委員長

ほかにございませんでしょうか。

事務局(佐藤)

ブランド戦略をやるにあたって、競合他社というか、ほかの自治体との差別化が必要になってくると思う。例えば、いちごだと亶理町と山元町、東松島市等沿岸地域が結構やっていて、その中でどうやって亶理町を棲み分け・差別化していくか、そういう視点も必要なのかなと。認知度以外に、競合先と比較して、どういう強みを持っているかそういった調査も今後やっていきたいと思っております。

中山委員

山元とか東松島、南三陸、石巻も今いちごはかなり伸びてきています。亶理の方が上なんですけど、石巻や山元はそれぞれ自分たちの名前を使っている一方、亶理が売ってるいちごは「仙台いちご」という名前になってる。8割以上が県外で、ほとんどを北海道で販売しているのだから、商圏が違い、競合はしないんですが、商品名は「仙台いちご」になっています。そういったこともあって亶理という名前をどこかにということはあるんですが、どうしても「仙台いちご」というブランドになっているということもあって、なかなか難しいかなと思っておりますが、今後の課題としては挙げられます。

森委員

水産について、秋鮭が県内でもかなり獲れるんですが、南

三陸は放流したものが帰ってこないこともあって、あまり漁獲量がないです。南三陸町にはかなり規模が大きくて有名な水産加工業者があって、亘理町内のスーパー等ではその南三陸町の業者が加工した真空パックの秋鮭が販売されているんですが、その秋鮭は亘理産です。そういったこともあって、先ほどブランド力ってありましたが、やはり今のうちにはらこめしだけじゃなくて秋鮭や食品加工、そういったものにも支援していく必要もあると思います。

郷古委員長

結局、原材料に亘理のものを使っていても、南三陸で加工して、亘理で売るということですね。しかし、水産加工のバックヤードとかは南三陸の方が圧倒的に大きいですね。

森 委 員

規模も大きいし、有名な業者もいくつかあります。

郷古委員長

ありがとうございました。それでは、先ほどの KPI のほうですね、KPI、事業効果、今後の方針のところにつきまして、そのほかにご意見ありませんでしょうか。

では、私から。KPI の滞在人口のところ、未達成の見込みということですが、例えば平成 28 年度平均で 1 月から 8 月までで 1,228 人、半年弱となっています。9 月から 12 月までもう少しありますが、1 年間とすると伸びるだろうという解釈してよろしいでしょうか。

事務局(入木)

はい。9 月から 12 月ははらこめしの時期でもあるので、伸びると推測されます。1 月から 8 月までとした理由については、データ情報源である RESAS「地域経済分析システム」のデータが 8 月分までしか発表されていないため、比較できるのもそこまでということなんです。

郷古委員長

ただ、そのトレンドでいっても、KPI にある 2,300 人には届かない見込みと解釈してよろしいですか。

事務局(入木)

はい。

郷古委員長

あと、先ほどの移住相談件数も未達成ということですが、そういったところについて、その他ご意見等ございますでしょうか。

色々なプロモーションも多数やっていただいて観光客の入込数については達成、滞在人口については、出典元が色々変わってきたことで参考値扱いというような説明がございました。あと、移住相談件数については、行政に頼らなくなったこともあって、評価ソースが行政への相談だけでは

難しいので、別の方法もあるのではないかということでした。そういったところも踏まえて、事業効果、今後の方針のところございますけども、この委員会における2年目の検証といたしまして、これまでのみなさんのご意見から、総合戦略のKPI達成にこの平成28年度の実践が有効であったということによろしいでしょうか。

委員全員
郷古委員長

はい。

ありがとうございます。

それでは次のみやぎ「県南浜街道」誘客促進事業、そちらの方に移ってまいります。事務局のほうからご説明お願いいたします。

担当課(猪股)

資料により効果検証シート No. 2 みやぎ「県南浜街道」誘客促進事業についての説明を行った。

郷古委員長

ありがとうございました。この事業につきましては2つの事業ございまして、2つのKPI、片方は大幅に達成、もう一つの方は増加しているが50%は未達成となっております。説明の内容に関するご質問、ご意見をお伺いします。いかがでしょうか。

佐藤(徳)委員

この事業で作成したフリーペーパーは亘理町内では鳥の海PAにしか置いていないですか。

担当課(猪股)

あとは、公共施設、掲載されている飲食店にも置いていません。

佐藤(徳)委員

残念ながら初めて見ました。

森 委員

そうですか。よくポスター貼ってあるような気がしますけど、ふれあい市場にいるからですかね。

佐藤(徳)委員

目に付きませんでした。すみません。これは素晴らしい、これを見たら行きたくなるなっていう感じがしたので、もう少しみなさんの目に付くところに置いていただくと嬉しいなと感じました。

事務局(宍戸)

先ほど、話ありましたけども、鳥の海PAですね、NEXCO東日本の協力で亘理町専用のPRラックが設置されています。そこで1週間に約300~500部はけています。

担当課(猪股)

週2回補充しに行くんですけど、大抵全部空になっているので、もしかしたら、もっとはけるのかなと思います。やはりあそこが仙台市から常磐道使ったときの最初の休憩地ですし、北上して来た場合、仙台市に入る前最後の休憩地点と

いうことで、出入りが激しいんですね。

事務局(宍戸)

それで、鳥の海PAの自動販売機がめでたくNEXCO 東日本管内で売上げ第1位になって、1台増設になりました。冷たいものも冷たくなく、温かいも温かくなく提供されるような自販機だったそうです。

皆さんご存じの通り、4車線化の工事に伴う、宮城県工区の着工式も7月にありまして、それと関連してPAの拡張もやはりNEXCO 東日本の方では検討しているようです。4車線化の工事については、平成32年度末完成予定です。

郷古委員長

ありがとうございました。2市2町でやった事業でKPIの1つは未達成ということになっていますが、ほかの市町は何か集計をとっているのか、情報があれば教えてください。

担当課(猪股)

聞いたんですが、どこも集計中ということでした。観光客入込数については、山元町には聞いていないんですが、おそらく、いちご農園で増加の見込みなので達成すると思います。名取市と岩沼市はどちらも達成できない見込みだそうです。2市2町分のとりまとめは事務局のほうにお願いしていたので、結果がわかり次第皆様には配布させていただきたいと思います。

郷古委員長

2市2町でやっているの、各自治体と全体の両方を見ないとダメなんですよ。

森 委 員

パンフレットですけど、また改訂して新しいものを作ったりするんですか。

担当課(猪股)

改訂はしませんが、増刷ということで話が進んでいます。今後改訂するとしても、「じゃらん」は使えません。ブランド力があるので、はけ具合の良さも「じゃらん」の効果かと思っています。

あと、本日皆様に平成28年度分までの観光客入込数を一覽で記載したものをお渡ししてございます。震災後は大幅に減りまして、徐々に持ち直してきているというような傾向になっております。もう1枚については、観光農園の入込数になります。平成21、22年については、4月、5月が潮干狩りの数も含まれたものになりますが、震災前は6万人くらい来てるのがわかります。潮干狩りは大体1万人くらいで、5万人がいちご狩りに来てたということです。震災後は大幅に減りまして、徐々に増加してきていたんですが、去年は大

幅に減ったということをこちらの委員会でも説明させていただいたんですけど、その後の経過としましては、平成29年のシーズンがちょうど6月で終了しまして、平成29年につきましては、昨年から2,000人強持ち直したということでした。昨年については、山元いちご農園さんとかGRAさんが1月からいちご狩りを始めたということで少なかったと推測されますが、今年は昨年までの影響はなかったということでした。こちらについては、いよいよPRの効果が見られたのかなと思っております。

郷古委員長

ありがとうございました。亙理のいちごを食べたいと思っても、北海道等の県外に出ていってしまうので、仙台市内のスーパーで売ってるのはほとんど石巻とかのいちごですよ。そういう意味で地元の人が食べたいって思ったら、やはり亙理町に来るしかないんですね。もう少し仙台でも売ってほしいですね。

そのほかにご質問、ご意見等ございますでしょうか。

それでは、こちらのKPIですけども、先ほど説明のありました通り、亙理町に関しては観光客入込数は大幅に増加している。あと、イベントの売上げについても、まだほかの市町は集計中ではありますが、亙理町については25%増で目標の50%には至らないということでした。ただ、今のところ、2年目にしてはいい成果を上げていて、こちらの方についても、総合戦略のKPIに事業が有効であったということで評価してよろしいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員全員

はい。

郷古委員長

ありがとうございました。

それでは、3つ目の事業になります。ITを活用した農業ブランディング構築事業、こちらの方についてご説明をお願いします。

担当課(小野)

資料により効果検証シート No. 3 ITを活用した農業ブランディング構築事業についての説明を行った。

郷古委員長

ありがとうございました。ただ今の説明に関してご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

担当課(小野)

ブランディングについては、今年度はできるだけ新規就農者が入って来やすいような状況をつくるため、研修制度等の充実を図って行きたいと思っております。

- 郷古委員長 ご意見等ございますか、忌憚のないご意見をお願いします。
私の方から1つ、確認したいんですが、②のいちご農家就農体験事業、これは亙理高校だけですか。
- 担当課(小野) 今のところ亙理高校だけです。
- 郷古委員長 今年度も同じように亙理高校にやっていく予定ですか。
- 担当課(小野) はい。亙理高校の園芸コースに約40名の生徒がいらっしゃるんですけど、そちらの方を対象に実施予定です。
- 郷古委員長 回数や1回の時間はどれくらいですか。
- 担当課(小野) 年4回実施していますが、1回あたりの時間は午前中いっぱいです。苗取りだったり、定植したり、摘み取りだったらパック詰めまで、その一つ一つの作業につき実施しています。30分から1時間くらいの講義をして、その後実習という流れになっています。
- 郷古委員長 実際、亙理高校の園芸コースの生徒さんたちは、家が農家の方が多いですか。
- 担当課(小野) 町外からいらっしゃる方が多くて、おじいちゃんが農家やってますという方はいらっしゃるんですけど、そんなに頻繁に手伝ったりしてるわけじゃないみたいなので、ほとんどの方が初めてです。園芸コースっていいながらも、学校以外では農業に触れる機会はあまりないようです。
- 中山委員 新規就農ですが、やはりどうしても施設園芸のいちご農家だと設備の段階で投資がかなり大きく、ハードルが高いと思います。ゼロから始めるところに融資というと、リスクも伴うので、なかなかそれも厳しいというかおっかない部分もある。やはり色んな研修なり、研修所みたいなのところがないと。それも大きな課題です。いちごに限らず、沿岸部の畑が空いているのであれば露地野菜とか、そういったことも含めて考えていってもどうかなと思ったりもします。いちごに代わるまでも行かなくても、次のブランドになればと感じています。
- 郷古委員長 ありがとうございます。
- 確か総合計画の時の議論でも、就農者のための研修やインキュベーターのような、就農者を育てていくような施設も必要だという話も出ていました。おそらく、最終的な目標としては、新規就農者の確保が上位目標にあるんでしょうけど、今後はそういったところも必要になっていくのかなと思います。

担当課(小野)

いちごに関しては、今おっしゃってた通り、いちごファームの研修の要綱を作ることを今目標にしておりまして、こちらで研修を行って、あとはできるだけ補助金を活用できるようなかたちにしたいと思っております。いちごに限らず、募集したときにどういう人を採用したいかだと思っておりますけど、本当にやる気のある方、体験してまあ面白そうだからという理由の方が来て、真剣に農業やりたいんだって方でないとおそらく補助金がついたとしても、要件をクリアできなくて返還になる。そういったことも考えられますので、フォローアップですね、本当に続けていけるような状況を、こちらでも農業公社から資材等をご協力いただいて、そういったことも含めて、協議していきたいと思っております。

それと、新規就農者だけでなく、やはり離農する方も多いので、先ほど twitter のツイート数で「りんご」あまり引っかけからなかったってあったんですけど、りんごは量が少ないので辞める方も多くいらっやって、毎年離農したいっていう話を聞くので、そういったところに新たに継ぎたいとか、そういったマッチングも今後やっていこうと思っております。りんごの農家さんの情報を受けたら、そこに対して引き継ぐ方あればってことで募集をするようなかたちで。

郷古委員長

今は就農体験事業としてこの中では一覧になっていますが、農林水産課さんの方ではそれ以外に、マッチング等も併せて実施していくということですね。ありがとうございます。

門澤副委員長

高齢化とか後継者不足っていう農業の根本的な問題があるのはわかるんですけど、亘理町のいちご農家さんの人手不足の状態っていうのは続いているんですか。

中山委員

一部にはあるかと思いますが、震災をきっかけに離農した方や経験している方が雇用されているのは多いかなと思います。全部が全部足りないかというところでもなく、施設がいちご団地になったおかげで作業が効率的に進むようになったこともあります。

門澤副委員長

先ほどの話の中に、新規就農、自分が事業主として新しくやるには初期投資の額が非常に大きくなるので、なかなか難しいって話がありました。それ以外ですと、結局正規雇用を産まないことには非正規雇用のパートさん、アルバイトさんだけではキャリアは絶対身につかないですよ。ですから、

さっき言った研修の場ですとか、でなければ、きちんとした正規雇用をできる事業主さんの育成、そういったところはこれから高齢化と後継者不足に加えての課題として抑えておく必要があると思います。

中山委員

今は2世代目というか、自分たちの父親か、そのちょっと下の年代の人たちが主にやっていますが、もっと下の年代になってくるとやはり後継者不足も出てくると思います。何人かで組んで規模を拡大して、法人化ということも今後はしていかないと続けられないだろうなというふうには思います。だから、そういったときに改めて雇用が生まれるだろうなとは思っています。

郷古委員長

ほかにございますでしょうか。

今様々な委員の方からご意見も出て参りましたので、そういったところも含めて、農林水産課さんの方で色々な施策の参考にさせていただけたらと思います。

それでは、こちらのITを活用した農業ブランディング構築事業につきましては、KPIの指標は3つとも達成となっておりますので、2年間の経過時点でこちらも総合戦略のKPI達成に有効であったというふうに判断して良いかと思いますが、いかがでしょうか。

委員全員

はい。

郷古委員長

ありがとうございます。これで(1)の効果検証については以上になります。

事務局(宍戸)

今、検証していただきました3つの事業につきましては、議会でこの委員会で検証した結果ということで報告をさせていただきます。時期については、8月に臨時会を予定しますので、その辺か、9月定例会の全員協議会で予定をしておりますので、よろしくお願いたします。

郷古委員長

それでは、(2)の平成29年度地方創生推進交付金事業「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」について事務局から説明をお願いいたします。

事務局(武山)

資料により平成29年度地方創生推進交付金事業「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」についての説明を行った。

郷古委員長

はい。ありがとうございます。こちらの方は特に報告とすることで、よろしいでしょうか。

事務局(宍戸) そうですね。今年度事業ですので、今後事業を精査して、秋口を目処に実施していきたいと考えております。国からの交付金の交付率が平成 26 年度から平成 28 年度までほとんどが 10 分の 10 の事業だったんですが、先ほど、説明があったように今年度は交付率が 2 分の 1 になって、町のほうも財政状況厳しいので、なかなか思うように手を出せない状況です。今回の事業費ベース 1 億円はこの補助金の上限でございまして、亘理町は今年度 1,000 万円の予算で 500 万円が交付金ということで計画しております。委員会では、改めて事業の実施報告をさせていただければと考えております。

郷古委員長 ありがとうございます。

はらこめしが終わって、その次にほっきめし、あなごめしとありますけど、そういった意味で季節品ですよ。それはすごくいいと思いますが、一方でブランド化や販売の増加を考えるとその時期だけだと非常に厳しいと感じます。冷凍してあったりするものではだめなんではないでしょうか。

事務局(宍戸) やはり、はらこめしは秋を待ちわびて食すべしというような掟がありますので、難しいですね。

郷古委員長 そういった掟とか、この季節じゃないと絶対食べられないんだよっていうのをもっとドンッと出していいのかなと思います。何月何日解禁っていうような。

事務局(宍戸) まず亘理のサケ漁に関しましては、毎年 10 月 1 日解禁となっておりまして、それに伴って、「水産まつり」を商工観光課主管で実施していますが、元々は「はらこめしまつり」という名称で実施しておりました。それで、昨年、皆さんもご存知のとおり 10 月 8 日を「はらこめしの日」ということで制定させていただいて、その第 2 弾ということで、今条例化を検討しております。その「はらこめし条例」で先ほど郷古委員長がおっしゃったような掟みたいなものを定めてはどうかと考えております。

ただ、今は残念ながら「はらこめし」で検索かけますと 1 番最初に出てくるのは、先ほど出た南三陸の水産加工業者さんで、震災後から段階的に上がってきたという経過があるようなので、こちらも仕掛けをして、一気にではなく徐々に、先ほど説明しました、「はらこめし=宮城県亘理町」となるようにと考えております。

- 佐藤(徳)委員 「はらこめしまつり」から「水産まつり」に名前は敢えて変えたんですか。
- 事務局(宍戸) 詳しくはわかりませんが、はらこめしだけじゃなく、水産のPRということも変わった経緯にはあったようです。
- 佐藤(徳)委員 「はらこめしまつり」のままの方が良かったんじゃないか、そこに付随して水産っていう方がインパクトもあっていいんじゃないかなっていうふうに感じました。
- 事務局(宍戸) 大小問わず、様々な団体からご協力いただいて祭りを開催しているので、「水産まつり」になったんだと思います。
- 森 委 員 はらこめしについては、時期の問題もあります。先ほど、亘理のサケ漁の解禁日は10月1日という話がありましたが、北海道では8月下旬とか8月の15日ぐらいから揚がっています。もっと言ってしまえば、サケといくらは年間商材としてあります。9月から12月までに最大の集客を目指すということであれば、やはり前もってのPRが必要になってくると思います。はらこめしじゃなく、しゃけいくら飯としてなら年間を通して売ることができても、なかなか掟を破るのは非難されるように感じがするので、できないという業者もあると思います。ただ、ビジネスを考える人は、それは売れてから考えろっていう人の方が多いと思います。名取市では亘理町の「水産まつり」の前に、「はらこめしまつり」を開催しているので、先にメディアに出てしまいます。今後、「はらこめし=宮城県亘理町」っていうのをPRしていくのなら、ほかやる前に何かしらのPRをしたほうがいいですね。メディア戦略っていうのを何か考えていただきたいと思います。
- 郷古委員長 やはり、産地間競争みたいなものが出てきて、そこでどのように差別化していくかというところが大事だと思いますが、ビジネスの方から言うと、その時だけバツと売れるのではなくて、まあその時で稼ぐという手もありますが、やはりオールシーズンやれないと。その時だけ観光客が来るわけではないので。知らない人だと、夏に亘理町にはらこめしを食べに来て、まだないってこともあると思うんですね。でなければもう逆手にとって、さっきあった掟をドンッと出して、掟破りだとか、周りを責める方が戦略なのかなと思いました。
- ありがとうございます。他によろしいでしょうか。それ

では議事は以上ということになります。

4 その他

事務局 入木が(1)亘理町まち・ひと・しごと創生総合戦略委員の委嘱期間について、今期の委嘱期間が平成 29 年 11 月 17 日をもって満了となること及び(2)第 7 回 亘理町まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会の開催予定時期について、平成 29 年度地方創生推進交付金事業「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」が終了した 12 月頃になることを説明した。

5 閉会

門澤副委員長から「長時間にわたり、皆さん本当にお疲れ様でございました。交付金事業の検証結果は、概ね良好だったということで非常によろしかったと思います。これは、行政と産業関係の団体との連携がうまくできていたことの結果ではないかなと思っております。あとは、前回も申し上げた記憶がありますが、スポーツを中心としたイベントを、是非観光イベントに変わるような施策があると、もっと亘理町のブランド力が上がって行くんじゃないかなと思います。そういう意味では、協力委員会部局さんとの連携がこれから 1 つの課題として上がってくるとは思っております。亘理町の復興マラソンが一部観光イベントのような、お祭りのようなマラソンになればいいなと思ったり、10 月 1 日の東北みやぎ復興マラソンもコースとなる 2 市 1 町のブランド力向上につながればと考えております。それでは、本日はお疲れ様でした。」とあいさつがあり、続いて事務局 宍戸が閉会を宣言した。